

放課後等デイサービスガイドラインに基づいた自己評価等の公表について

1 評価表実施期間

平成31年3月1日～3月20日

保護者 配布25名 未回答0人

職員 配布8名 未回答0人

2 現在の取り組み改善目標等

- (1) 子どもの発達段階を客観的に捉え、一人ひとりに向き合った支援が提供できるように取り組んできました。
毎日のスケジュール確認時には、絵と文字で流れを表示し、確認ができるよう働きかけを行っています。職員は写真でわかるように表示し、子どもの個々の棚は、わかりやすいようなシールやなまえで明記しました。
低鉄棒、平均台、カラーマット、砂場を設置してニーズにあわせた支援ができるよう改善しました。
- (2) 発達障害の理解のために、発達障害への対応、子どもの人権、性教育等の学習会に参加しました。
2019年4月から従業員の処遇改善加算の手続きをしました。
- (3) 送迎車不足により、軽自動車2台を追加しました。
- (4) 地域社会との交流はできにくく、今後は放課後児童クラブ等との交流会や社会体験の機会を増やし、自立へ向けた療育活動を実施していきたいと考えています。
- (5) 日々の活動の様子はサポート通信やホームページで発信させていただいておりますが、ご家庭でのお悩み等情報共有を図るため、ペアレントトレーニング講習会の実施をしていきたいと考えています。また、今までの取り組みとしては言葉で上手く伝えられない子供のために「お話しタイム」の時間を設け、個々に5分～10分時間をとって、向き合うことを実施しています。
- (6) 緊急時等における対応方法、非常災害対策等については、津波対策のことも含め、保護者へ説明する機会を設けていきたいと考えています。
- (7) 保護者向けアンケート及び職員アンケートを活用し、今後の業務改善に向けて活用していきたいです。アンケートの結果等はホームページ等で公表しています。今後第三者による外部評価もしていきたいと考えています。資質向上のための職員研修は、年3回実施しましたが、今後も実施していきます。